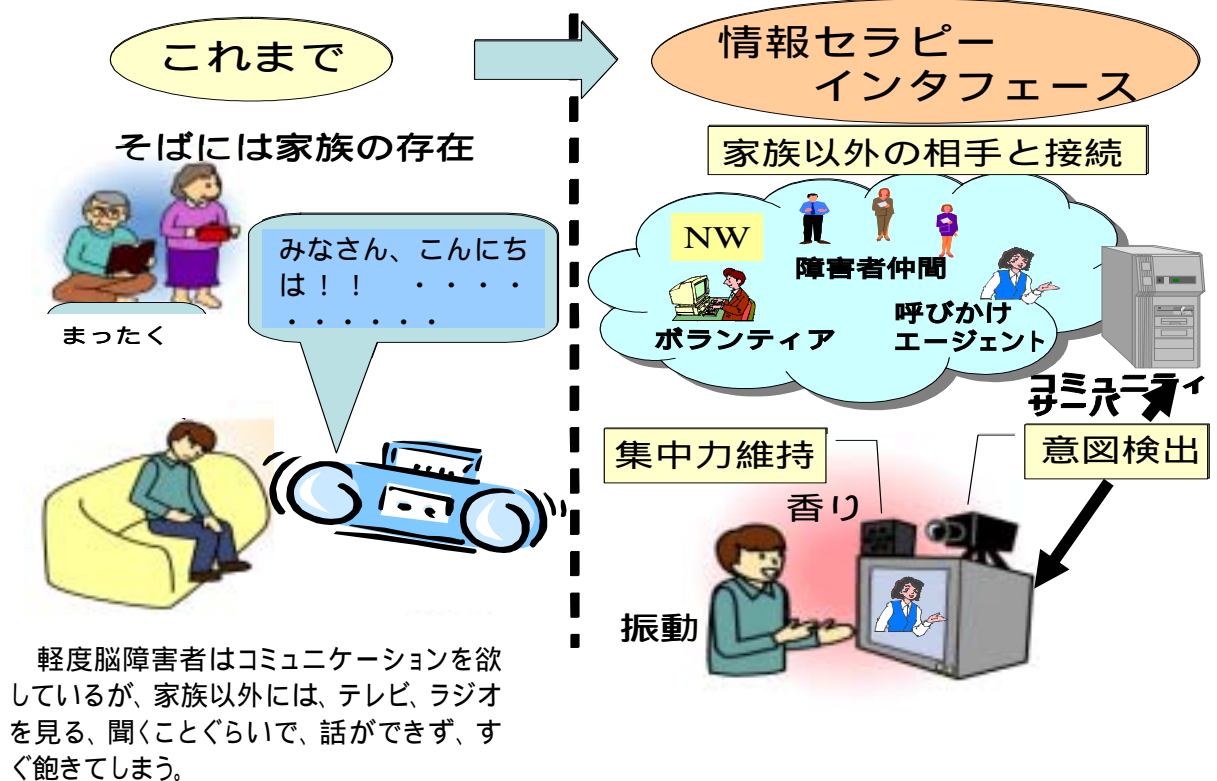


軽度脳障害者のための情報セラピーインタフェースの研究開発

民間基盤技術研究促進制度平成15年度採択案件

| | |
|--------|--|
| 受託者 | (株)国際電気通信基礎技術研究所 |
| 研究開発期間 | H15年9月～H20年3月(4年7ヶ月) |
| 研究代表者 | 鉄谷信二 (株)国際電気通信基礎技術研究所 メディア情報科学研究所 第三研究室 室長 |
| 概要 | <p>画像認識技術や五感インタフェース技術の活用により、人間の動作、行動等から意図を抽出して伝送、また振動や香り等による五感への刺激を伝送するコミュニケーションシステムの研究開発を行う。</p> <p>・例えば軽度脳障害者等が端末機器などを直接操作せずとも、その者の動きからネットワーク経由でボランティア等に意図を伝えることができ、またネットワーク経由で五感へ刺激情報を受け取ることができるもので、これらによるコミュニケーションを通じたストレスの回避(ここでは「情報セラピー」という)等に応用できるものである。また、医療・福祉分野に限らず、セキュリティ、娯楽等幅広く共通に使用できる技術である。</p> <p>【サブテーマ】 意図検出インタフェースの研究開発 刺激提示インタフェースの研究開発 コミュニティ・プラットフォームの研究開発</p> |



情報セラピー: 情報通信技術を活用したコミュニケーションを通じたストレスの回避をいう